



ほうき 議会だより

第78号

2024年
7月発行



クロスカントリー競争大会

おもな内容

- 6月定例会の流れを議案とともにご紹介 2～3ページ
- 主な議案の採決結果 4ページ
- 全員協議会 5ページ
- 予算決算等常任委員会 6ページ
- 議会改革特別委員会 7ページ
- 皆様からの請願・陳情の審査結果 8ページ
- 議会の役割について 9ページ
- 議会改革 10ページ
- 委員会活動報告 11ページ
- 一般質問 12～15ページ
- 議会の虫めがね 編集後記 16ページ

人の動き

	令和6年7月1日現在	前年同月比
人口	10,216人	△145人
(男)	4,894人	△81人
(女)	5,322人	△64人
世帯数	3,872世帯	△3世帯

伯耆町議会

検索



会の流れ

POINT & CHECK



STEP
01

6月4日
開催

全員協議会



令和6年度価格高騰重点支援
給付金支給事業(一体支援枠分)
1億2,910万円

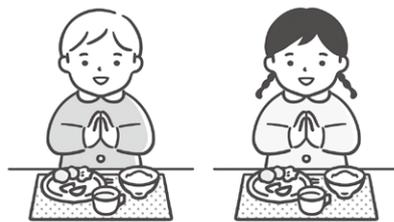


イネカメムシ
防除対策支援事業
248万円

議案番号 28～42号 (抜粋)



伯耆町震災に強い
まちづくり促進事業
488万円



教育費給食センター管理事務費
(学校給食費補助金)
177万円

町長をはじめ、副町長、教育長、課長等が一堂に会し、補正予算、令和6年度一般会計補正予算(第2号)、条例改正などの提案説明。その他、報告事項等も行われる。



本会議
初日

STEP
02

6月11日
開催

町長からの提案説明

各議案毎に提案説明があり、
委員会へ議案の付託が行われる。

6月定例

QUESTION & ANSWER



STEP
04

6月13日
開催

予算決算等常任委員会

専決処分・補正予算・
条例改正など担当課
による説明

総務課・住民課・
福祉課・教育委員会・
産業課・健康対策課・
地域整備課・企画課

委員会による審査意
見に対する執行部の
回答を含め、討論、採
決

内容詳細は6ページに掲載

全議員で構成されている委
員会。提出された議案につ
いて、担当課ごとに内容を
審査し、賛否を決定する。

STEP
03

6月11日
開催

本会議 一般質問

3名の議員が登壇。
町長・教育長と一問一答の
質問戦が繰り広げられる。



一般質問の詳細は
12ページから掲載

議員発議の条例改正案を提出説明

陳情等の付託議案の審査結果報告

一部事務組合派遣の報告

全員協議会

STEP
05

6月18日
開催

追加議案などの説明

報告事項を中心に追加された議案など
の説明が行われる。

など

討論採決の
結果は、
4ページに
掲載



本会議 最終日

STEP
06

6月19日
開催

議案ごとに討論採決

予算決算等常任委員会の付託案件や
付託のない議案の採決が行われる。

議案等に対する各議員の賛否（令和6年6月定例会）（○賛成 ×反対）

議案番号	件名	議員名（議席番号順）											
		大床 桂介	上田 博文	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	永井 欣也	一橋 信介	渡部 勇	幅田 千富美	大森 英一	勝部 俊徳	
28	専決処分について（伯耆町税条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
29	専決処分について（過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
30	専決処分について（伯耆町国民健康保険税条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	専決処分について（伯耆町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
32	専決処分について（令和5年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
33	専決処分について（令和6年度伯耆町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
34	専決処分について（令和6年度伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
35	専決処分について（令和6年度伯耆町索道事業特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-
36	伯耆町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
37	伯耆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
38	物品購入契約の締結について（堆肥センターホイールローダー）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
39	物品購入契約の締結について（除雪機械）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
40	物品購入契約の締結について（行政マルチコピー機）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
41	令和6年度伯耆町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
42	令和6年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
発議案第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議案第6号	伯耆町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
発議案第7号	伯耆町議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
発議案第8号	議会広報常任委員会の行政調査について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

みんなが知りたい 全員協議会

令和6年6月4日、18日に行われた全員協議会において、町執行部から説明を受け、議会協議を行ったので、その一部を紹介いたします。

●二部公民館のあり方検討会の協議状況について（報告）

① 検討状況

- ・ 既設公民館の大規模改修、新築は現実的でない
- ・ 二部小学校での複合化施設としての在り方について詳細課題を検討中。

② 今後のスケジュール

8月までに、あり方の方針（案）を決定し、9月に議会に報告する。

●開発協定の変更について（報告）

- ※伯耆町福兼地内で太陽光発電事業を実施しているソーラー・ワールド9合同会社が、施設を有償譲渡したため、開発協定の一部変更の協定を実施。
- ・ 譲受事業者名
SMFLみらいパートナーズ(株)
(三井住友ファイナンスリース株式会社100%出費)

・住所

東京都千代田区

・譲渡年月日

令和6年3月29日

※土地所有者は変更なく、譲渡事業者は地上権を設定。

●メルキュール鳥取大山リゾート&スパとの包括連携の締結について（報告）

※令和6年4月1日から「メルキュール鳥取大山&スパ」が開業し、運営会社の「トトリ・ダイセン2株式会社」と観光振興及び地域活性化に関する協定を締結。

●既存企業による真野地内における新規事業計画について（報告）

※大山ヒルズの運営会社が真野地内でミネラルウォーターの製造を計画。

① 事業内容

- ・ ナチュラル・ミネラルウォーターの製造
- ・ 井戸 1基（掘削150m）

- ・ 水採取量 369m³/日
- ② 事業主体
ガイア株式会社
(大阪府高槻市)

※今後、周辺集落との地元説明を経て事業開発計画を作成し協議予定。

●保育所給食調理業務の民間委託の検討について（説明）

① 現状と課題

- ・ 調理員の正規職員の定年退職に伴い、今後、安定した給食の提供が懸念されるため、給食調理業務の民間委託を検討する。
- ・ 近隣自治体の民間委託状況
米子市・大山町・日野町

② 委託の基本的な考え

- ・ 委託は、調理業務とし、献立作成は町が実施。
- ・ 調理は、保育所内の調理室を使用



おいしいね！
(ふたば保育所の給食)

- ・ 栄養指導は町の栄養士が実施。
- ・ 令和7年度は、先行してふたば保育所とあさひ保育所で実施を検討し、他の2保育所は、状況をみながら検討。

③ スケジュール案

- 令和6年7月 保護者説明
- 令和6年10月 公募開始
- 令和6年11月 事業者選定
- 令和6年12月 委託契約締結
- 令和7年4月 業務開始

●伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部改正（案）について（協議）

① 条例改正（案）の概要

- ・ 人権諸法の整備、鳥取県人権尊重の社会づくり条例の改正を踏まえた改正

- ・ 町内に暮らす全ての者の責務として明示

- ・ 人権施策の推進を図るため、人権施策基本方針を定める
- ・ 人権教育及び人権啓発の充実
- ・ 相談及び支援体制の充実

② 改正のスケジュール

- ・ 令和6年6～7月
パブリックコメントの実施
- ・ 令和6年9月 改正案の議会提案

議会の視点

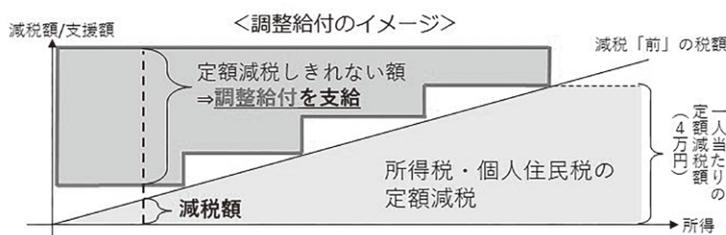
6月定例会において付託された議案を、予算決算等常任委員会で慎重に審査しました。その中でたくさんさんの質疑・議論がありましたので、一部を抜粋します。

- 伯耆町震災に強いまちづくり促進事業補助金
- Q 補助対象となる建物は。
- A 国、県に合わせて木造のみが対象。
- Q 非木造の建物も多数ある。非木造も対象にしてはどうか。
- A それは町独自のメニューになるので、そこは検討が必要。



- 定額減税の調整給付
- Q 事業者、雇用者から申請するものはないか。
- A 調整給付に関しては、予め町が計算して対象者に通知する。事業者からの報告、申請などは不要。

- 給食費補助金額
- Q 無償化の検討はされたか。
- A 無償化は国で議論されているので、動向を見ながら。今回は個人負担が増加しないよう、増加分は町費で措置することとした。
- 行政マルチコピー機の物品購入契約
- Q 監視カメラの運用方法と、録画機能の利用方法は。
- A 人が通ったときに録画するもので、1年間分は役場が求めたときは閲覧できる契約になっている。2年目以降は順次、データが上書きされる。
- Q マルチコピー機の操作に困って、カウンターにいられた時の対応は。
- A 基本的には困られたら案内はするが、コンビニなどでも対応できる旨の案内も合わせて周知するようにしている。



支給のお知らせが届いた人 (公金受取口座を登録している人)	● 手続きは不要です。 ● 受け取りを辞退する場合や、口座を変更する場合のみご連絡してください。 給付金の支給時期 お知らせに記載した日に公金受取口座に振り込みます。
支給確認書が届いた人 (公金受取口座を登録していない人)	● 給付金を受け取るには 手続きが必要 です。 ● 確認書に記載された内容を確認し、必要事項を記入の上、 令和6年10月31日(木)までに確認書を返送 してください。 給付金の支給時期 町が確認書を受理した日から1か月以内に口座に振り込みます。

※公金受取口座登録制度とは？
国や自治体からの給付金などを受け取るための預貯金口座（公金受取口座）を、1人につき1口座、あらかじめ国（デジタル庁）に登録する制度です。
マイナンバーカードを使ってマイナポータル等で登録することができます。

議員定数 14名から13名へ!

6月定例会 発議案第6号

伯耆町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について賛成9名 反対1名 可決 されました。次回、伯耆町一般選挙（令和7年4月）から実施されます。

賛成意見

これから人口が1万人を切る節目を迎える。人口減少社会に対応した議員構成であるべき。



町民の議会に関するアンケート結果から町民の意見を踏まえ、減員すべき。



住民からの議員削減したほうがよい話を聞く。



議員辞職が重なったので、今がそのタイミングである。



反対意見



これまでに、特別委員会で2回議員定数維持と決めている。議員が3人欠員だからといって、減員するのは議会制民主主義と民意の反映のうえから、特に慎重を期すべきだ。

伯耆町議会に関するアンケート 平成29年11月実施 町民18歳以上2000人対象 37.3%回収率

	増員すべき	現状程度がよい	減員すべき	わからない	合計
回答数	14人	231人	286人	189人	720人
構成割合	1.9%	32.1%	39.7%	26.3%	

近隣市町村の議員定数と人口、面積 (令和5年度鳥取県市町村要覧より)

	人口(人)	面積(km ²)	議員定数
伯耆町	10,420	139.44	14
大山町	15,320	189.83	16
南部町	10,348	114.03	14
日吉津村	3,599	4.2	10
江府町	2,617	124.52	10
日野町	2,859	133.98	10
日南町	4,144	340.96	10

総務経済常任委員会、教育民生常任委員会それぞれの委員会で慎重審査

皆様からの 請願・陳情 の審査結果



総務経済常任委員会



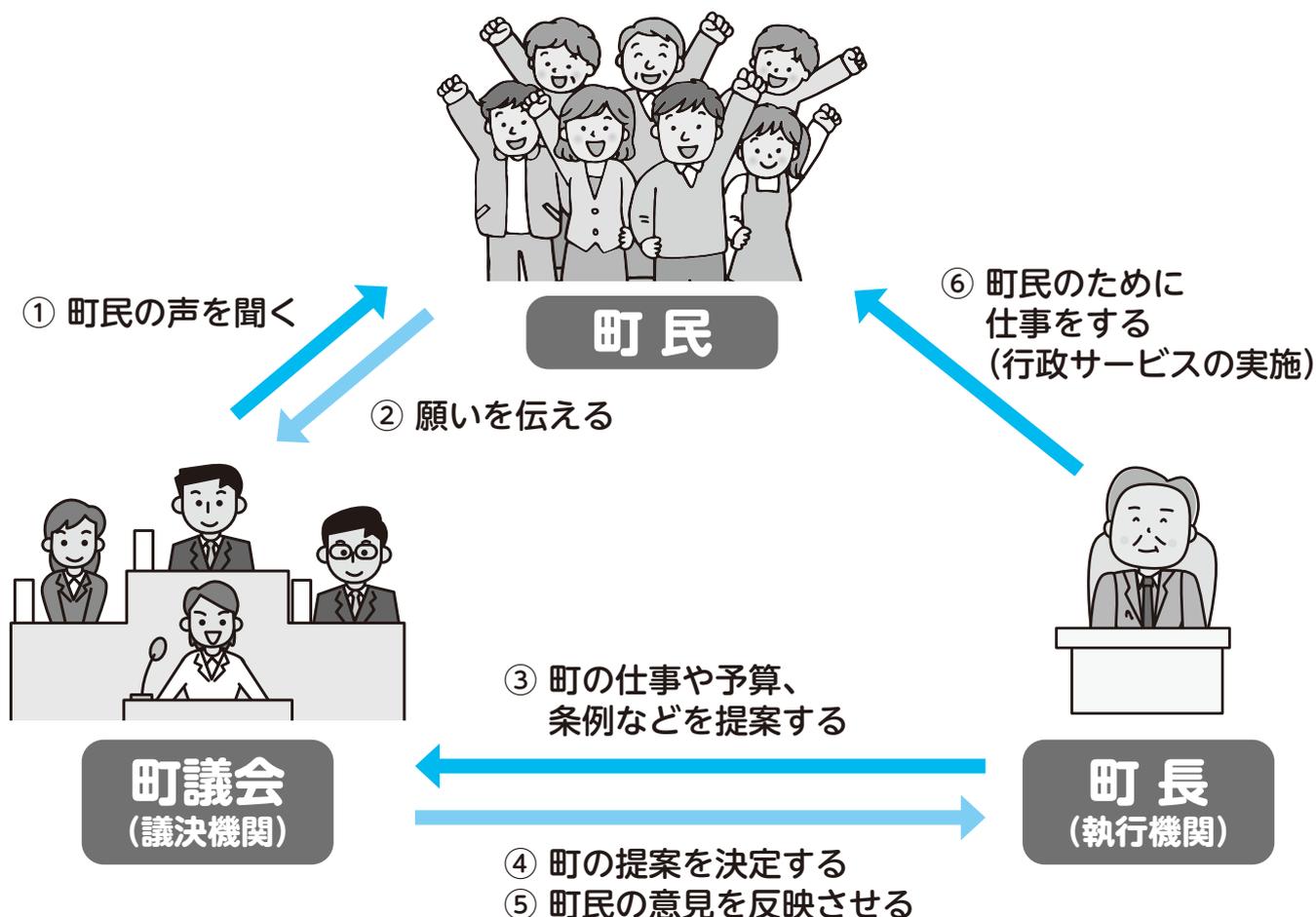
教育民生常任委員会

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和6年6月定例会）

陳情番号	件名	結果	議員名（議席番号順）											
			大床 桂介	上田 博文	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	永井 欣也	一橋 信介	渡部 勇	福田千富美	大森 英一	勝部 俊徳	
陳情第5号	地方自治と沖縄の自己決定権を尊重し沖縄との十分な対話で基地問題に望むことを国に求める意見書に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	-
陳情第6号	地方財政の充実・強化を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第7号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

発議案第5号が賛成多数で採択され「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出しました。



- ① 町民と語る会、町民への聞き取り
- ② 議員個人への訴え 請願・陳情
- ③ 議案の提案
- ④ 議案の採決
- ⑤ 各委員会から各課への要望、一般質問
- ⑥ 事業の実施、行政サービス提供

ポイント

町が行う仕事は議会の承認があって可能になるのです！

委員会について (令和6年6月現在)

総務経済常任委員会 (7名)	町内の経済・商工・農業・観光・空家、過疎対策など
教育民生常任委員会 (7名)	町内の保育・教育、福祉、医療、介護など
議会広報常任委員会 (6名)	議会、議案に関する情報発信
議会改革特別委員会 (全員)	議会の改善、議員の定数、処遇について
予算決算常任委員会 (全員)	提出された議案を審議
議会運営委員会 (各常任委員長)	議会運営 執行部との意見、情報交換

その他、必要に応じて特別委員会を設置いたします。

来年令和7年4月には伯耆町議会議員一般選挙があります。

議会改革一歩ずつ

現在、議会改革として協議中の内容について、その概要・経過を町民の皆様に一足早くお知らせいたします。

議員発議の手続き

条例の是非を協議

条例の内容を協議

- ・議会改革調査特別委員会(分科会)を2回開催
- ・議会改革調査特別委員会を3回開催
- ・全員協議会(これまでの検討状況、条例(案)説明、協議)
- ・議会改革調査特別委員会(条例(案)の説明、協議)

条例の成案を得る

パブリックコメントの実施

R6.7月初旬 パブリックコメント実施(28日間)

コメントを条例案に反映

R6.8月初旬 議会改革調査特別委員会(第19回)
・パブリックコメントへの対応について検討

条例案の最終確認

R6.9月中旬 議会改革調査特別委員会(第20回)
・条例(案)の検討、協議

条例案を本会議に上程(9月予定)

R6.9月下旬 議会本会議
・条例(案)上程

条例公布・施工

R6.10月下旬 条例公布、施行

半年間の欠席で 報酬半減のルールを制定

◎伯耆町議会議員の長期欠席に係る議員報酬等の特例に関する条例の制定について

(要約) 伯耆町議会議員の職責及び町議会への町民の信頼の確保に鑑み、議員が町議会の会議を長期欠席した場合における議員報酬及び期末手当の支給について、伯耆町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例を定める条例を制定する。

逮捕など勾留で 支給の差止めを制定

◎伯耆町議会議員の議員報酬等の支給の一時差止め等に関する条例の制定について

(要約) 伯耆町議会議員が、刑事事件の被疑者又は被告人として逮捕等された場合に、議員報酬及び期末手当の支給の一時差止め等を行うため、「伯耆町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の特例を定める条例を制定する。

総務経済常任委員会活動報告

(1) 調査日

令和6年4月19日

(2) 調査項目

伯耆町自治体DXについて

(3) 調査の概要

○伯耆町自治体DX推進体制

・伯耆町自治体DX推進プロジェクト設置（令和4年6月）

行政手続きのオンライン化及び標準仕様標準システムへの移行等調査、検討をおこなうための体制の整備。

・副町長をリーダーとして全庁的、横断的な体制づくり

○伯耆町の取組み状況

①標準仕様システムへの移行

・伯耆町自治体DXは、令和7年度までに20業務システムの標準仕様システムを最優先で取り組む。

②証明書発行マルチコピー機の設置

・令和6年度に住民票や税証明書

●自治体DXとは

行政サービスについてデジタル技術やデータを活用して住民の利便性向上させるとともに、自治体業務の効率化を図り、行政サービスの向上に繋げてゆく。



マルチコピー機

等の証明書発行、コピーができる機器を本庁・分庁舎内に設置し、書かない窓口システムの構築を図る。

【参考】

証明書コンビニ交付の発行状況
(R5.7~R6.3)

曜日ごとの発行数	
日曜日	108部
月曜日	124部
火曜日	99部
水曜日	123部
木曜日	115部
金曜日	125部
土曜日	96部
合計	790部

証明書ごとの発行数	
住民票	403部
住民票記載事項証明書	26部
印鑑証明書	320部
所得（課税）証明書	41部
合計	790部

町内外での発行数	
管外	353部
管内	437部

時間帯の発行数	
時間内	358部
時間外	432部

教育民生常任委員会

○令和6年5月27日（月）開催

○出席者

（日野郡ふるさと教育推進協議会）若林主任、請川コーディネーター
（教育民生常任委員会）長谷川満委員長ほか4名

●日野郡公設塾

「まなびや縁側」

日野郡の3町で連携して運営する公設塾

日野郡ふるさと教育推進協議会が、ふるさと教育を推進することを目的に令和2年設立。

〈江府拠点〉41名

6年生 6名／7年生 16名／8年生 9名／9年生 10名／高校生 0名

〈日野拠点〉9名

日野高校生 1年生1名／2年生1名／3年生7名

〈日南拠点〉18名

日南中 2年生10名／3年生6名／高校生 2名

（令和6年4月末時点）

人員体制は、3町を巡回するコーディネーター1名（男

性）、江府拠点…講師1名（女性）、日野拠点…講師2名（女性）、日南拠点…不在

●日野町 英語教室

「英語寺子屋」

【内容】

対象は日野学園3～9年生。小学生には英語の基礎的な単語やリスニングを、中学生にはテスト勉強や高校受験、英検などに対応する学習を行っている。

【参加】

月額1,000円（出席のなかった月は参加費はかからない）



日野町山村開発センターにて

一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長、教育長に対して、町の仕事全般や町の教育について、その取り組みや将来の方針について問い、その課題を明らかにします。また、新たな政策の提言をいたします。

基本ルール

- ・ 質問は事前に通告
- ・ 持ち時間は 1 人 60 分
- ・ 町行政、教育に関係あるもの

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れる YouTube の二次元バーコードはこちらです。



令和6年6月11日開催

今定例会では 3 人の議員が登壇しました。原稿は質問者が作成しています。

杉本 大介 議員

- ・ 「ふるさとキャリア教育」における中学校、高等学校の繋がりを

乾 裕 議員

- ・ 人口減少問題に対する認識並びに対応について
- ・ 第 6 回ガソリン等購入助成券の発行を

幅田 千富美 議員

- ・ (仮称) 鳥取西部風力発電事業について
- ・ 危険な大阪・関西万博に伯耆町の子どもたちを動員しないように

ふるさとキャリア教育 中学生から高校生への繋がり

教育長

キャリアパスポートを

対策として活用



すぎもと だいすけ 議員
杉本 大介



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 「ふるさとキャリア教育」は本来ならば、保・小・中・高まで体系的にフォローして、切れ目なく繋げられることが理想だが、本町には高等学校がない。課題や対策をどう考えているか。

答 教育長 以前は各高等学校までの学びの連続性というところに課題があったが、現在は、伯耆町では令和2年度から本格導入をしている、「キャリアパスポート」を対策として活用している。

小学校からどのような教育活動で学びを経験してきたかということを記してファイリングし、中学校へ進学すると、そのファイルも引き継がれ、中学校でも同じように教育活動などの記録がされ、そして高等学校へも引き継がれて活用されている。

問 中学生のボランティア活動と高校生サークルの活動を比較してみると、高校生のほうが少し大人しく見える。

答 教育長 中学生が積極的に出かけて行って地域の方々と一緒にやって、ボランティア活動を行なっている。令和5年度の途中からのスタートで、昨年度は16回延べ50名の中学生が参加。

高校生サークルは、高校生自ら企画することで責任感などを育て、他の高校の生徒と交流す



ることで仲間づくりを行なって地域で活躍するリーダーを育成することを目的としている。

ふるさとキャリア教育での学びの成果を地域に開くという点からも必要なサークル。

令和元年度までは活発に活動していたが、コロナ禍による影響が大きく、活動中止せざるを得ない期間で、繋がりが切れてしまい、現在は存在していない。再度立ち上げるために、声かけやチラシ配布で募集を呼びかけているが、応募がないというのが現状。

問 高校生サークルを活性化するためには、中学生ボランティアとの繋がりを作ることが重要だと考える。何か考えは。

募集!

伯耆町 高校生サークル

あなたは、
青春を
どう過ごす?

地元で活躍したい、友達づくり、楽しみたい、暇だから、動機は何でもOK!!

活動内容

- 地域でのボランティア活動
- 近隣高校生サークルとの交流
- 自分たちで企画を計画・実施 などなど

参加条件

町内出身の高校生
(学校の部活に入っているもOK!)

活動日

イベントのある土日が基本!
イベントがあるときにメール案内します!

伯耆町高校生サークル

答 教育長 社会教育事業やボランティア活動に参加している中学生や高校生と顔見知りになり、そこから繋がりを作っていくということが重要。しかしながら、現役の高校生はコロナ禍の影響が大きく、中学校時代、地域でのボランティア活動という経験がほとんど出来なかったため、なかなか興味を持つてもらうことが難しいというのが率直な感想。その一方で、一朝一夕ではなく、コロナ後のリスタートとして、今の地域学校協働本部活動、中学生の地域貢献活動に参加している中学生が、高校生になっても参加できるように育成していく地道な取り組みが重要と考える。

人口減少問題に対する 認識と対応について

町長

生活満足度の向上に

努めていきたい



いぬい ゆたか 議員
乾 裕



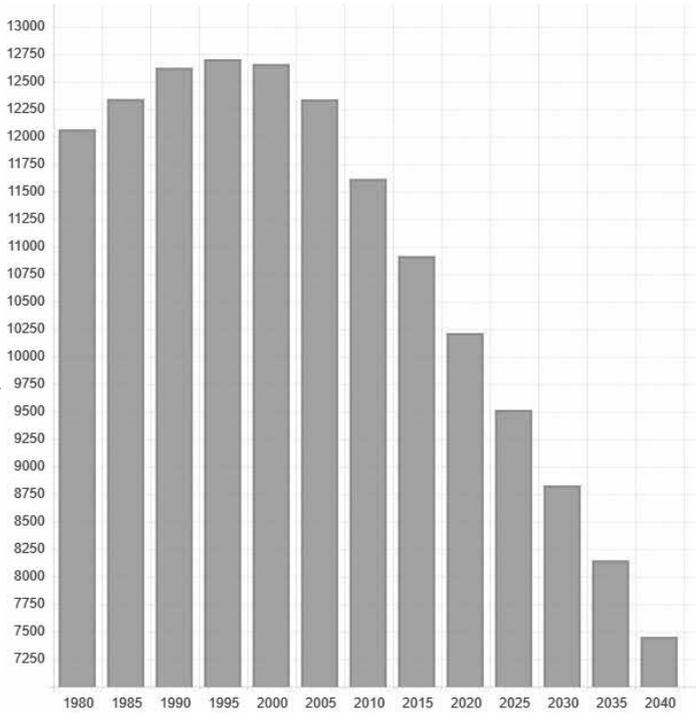
ユーチューブ
動画は
こちらから

問 去る4月24日に発表された「消滅可能性自治体」は全国で744市町村だった。県内では8町が指摘された。本町は対象から外れた。その分析

はされているか。

答

町長 分析はしていない。改善率は県下では一番高い方だった。町内では民間による集合住宅や一戸建て住宅の建



伯耆町のこれまでの人口動態

出典:RESAS(地域経済分析システム)

設が増えていていることは影響を及ぼしていると見ている。生活満足度を向上させることに努めていきたい。

問

溝口地区の人口減少が著しい。二部・日光のような活性化協議会の取り組みを考えないか。

答

町長 地域による自発的な取り組みとして公民館を中心に進められてきたものである。溝口地域にそのような機運があるようであれば公民館も含めて応援の体制を取りたいと思っている。

第6回ガソリン券購入助成券の発行を

問

基礎自治体として、家計支援を展開し非常にありがたい政策であった。引き続き同事業の実施を求めたい。

答

町長 これまでの取り組みに対しての高評価を頂いた歳出を作る前提条件として財源がないと歳出を作ることはできない。前年度決算の概算数値は令和4年度には到底及ばない。こうしたことから現時点で実施できる状況にはない。ただ、発言については心に留めておきたい。



第2回ガソリン券

風力発電事業計画の 透明性は

町長 十分な説明とは言い難い

本年5月、日野町で第3回事業者説明会が実施され、今年冬場に準備書提出、公告、縦覧予定、現在6地区が契約締結とのことであった。以下について伺う。

問 当事業者は、経済産業大臣勧告、県知事、住民の意見を誠実に履行されているか。

答 大臣勧告では、検討実施に当たっては、専門家の指導、助言を得て、鳥取県及び、関係町等の協力、調整を十分に行ない、住民関係者に対し、丁寧・かつ十分な説明により透明性を確保することとしているが、そのような事業となっているか。

町長 途中段階ではあるが、現時点で十分説明がつかれていないと言いたい。要保護、準要保護で対応する。



はばた ちふみ 議員
幅田 千富美



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 当事業者の資本金は。

答 企画課長 当会社の資本金は10万円。

問 合意、契約地区はどこか。

答 企画課長 町は把握していないが、二部地区の複数の地権者が地上権設定契約されていることは承知している。

問 環境大臣は「環境への影響の懸念」、県知事は「大幅縮小、抜本的見直しが必要」専門家も「希少動物が多く具合が悪い」と指摘している。最大出力144.4KW、4500KW級の風車は、大型のもの34基、集落囲む急峻な山地に大規模開発は、自然と地域住民に重大な影響に与える様々な角度から、どのような協議をされるのか。

町長 権限は県であるが、準備書提出、公告、縦覧で住民がしつかり意見を言う場はある。町に2000㎡以上は町開発協定で議会との相談の場がある。

問 伯耆町は水力、太陽光発電など、すでに自然エネルギーの町、総出力はいくら。

答 企画課長 太陽光11ヶ所 水力3ヶ所 総出力48000KW。



風力発電のイメージ

危険な大阪、関西万博に伯耆町の子供達を動員しないように

問 日本博覧会協会が鳥取県の市町村教育行政連絡協議会に対し、県内の子どもたち、修学旅行や校外学習で訪れてもらうよう要請があったと聞く。しかし、万博会場「夢洲一区」での爆発事故やメタンガスの発生、地盤沈下など問題が多い万博に伯耆町の子どもたちを動員しないよう要請し、教育長の認識を問う。

答 教育長 本年4月8日付で文科省から通達、4月6日、同協議会で説明があった。修学旅行は学習指導要領で定められ、校長に権限があり、県としても学校の意見を尊重することであった。



「スポーツを核にした

豊かな地域コミュニティの創造」を目指す!!



ほうきスマイリースポーツクラブ
代表理事
後藤 弥 さん

ほうきスマイリースポーツクラブ

★設立の経過と時期は

合併により伯耆町が誕生した当時、町の体育指導委員（現スポーツ推進委員）が中心となり、地域住民による自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの設立が検討され、平成20年4月にスポーツ振興やスポーツを通じた地域づくりを図るため「ほうきスマイリースポーツクラブ」を設立しました。

★クラブ運営の状況は

現在、岸本B&G海洋センターを活動拠点として、2名の専任職員と役員6名、一般会員約50名、スポーツ少年団や元体育協会専門部をそれぞれ「ジュニアクラブ」（11団体約320名）「アスリートクラブ」（6団体約120名）として活動しています。

★現在の活動内容は

スポーツに親しんでもらう活動として、親子で楽しむ親子運動教室、ラフティング体験（ゴムボートに乗って川下

り、クロスカントリー大会など、また町からの委託事業として保育所や小学校での運動教室の実施、さらに町内の各種スポーツ大会の開催や指導者派遣、ジュニアクラブやアスリートクラブの活動支援など、多様な地域スポーツ活動を行っています。

★活動における課題は

住民の方の「ほうきスマイリースポーツクラブ」の認知度が低いと感じており、今後も様々なイベントを通じてPRしていきたいと思えます。2点目として指導者は資格の取得が必要であり、ニーズに応じた指導者の確保が難しいと感じています。3点目としてクラブの自主財源の確保が



親子ラフティング体験

難しく、受託事業が中心の事業展開となっていることです。



親子運動教室

★今後の抱負について

中学校部活動の地域移行や小体連のスポーツ大会の中止など、子どもたちのスポーツ体験の場の減少により、今後の体力低下を心配しています。ジュニアクラブを傘下にもつスマイリースポーツクラブとして、スポーツを体験する機会をさらに充実させたいと考えています。さらに、子どもたちや親子、住民同士がつながり合う多様なスポーツ活動を展開し、スポーツを核として心豊かな地域づくりを進める一助になればと考えています。

編集後記

議員辞職が続き、町民の皆さまには大変なご心配をおかけしております。6月定例会では議員定数の議論を行い、次回一般選挙より1議席減での実施が決まりました。また、議員の長期欠席や刑事事件における議員報酬の取り扱いの検討も続いています。議会広報常任委員会でも、町民の皆さまの負託に応えるため、委員一人ひとりが気を引き締めて、議会広報に関する研鑽を重ねて参りたいと考えております。

【編集】

議会広報常任委員会

- 委員長 大床 桂介
- 副委員長 長谷川 満
- 委員 大森 英一
- 委員 杉本 大介
- 委員 上田 博文

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。